



黒島魂

～しまごころ～

「みがきあい(キラキラ)」

「ささえあい(ニコニコ)」

「わかりあい(ワクワク)」

おめでとうございます！

本日令和5年度佐世保市立黒島小中学校、黒島はまゆう学園、卒業証書及び修了証書授与式を執り行いました。

卒業生、修了生の皆さん並びに保護者の皆様、誠におめでとうございます。

式辞の中で、卒業生には、夢をもつことで、人生は無限に豊かなものになることを、幕末の志士坂本龍馬の言葉「**今一度日本を洗濯いたし候**」を引用しつつ伝えました。この言葉は、坂本龍馬が、土佐藩を脱藩した翌年、姉に出した手紙に書かれていたものです。日本を洗濯するように、まっさらに新しくしたいという夢を抱いた龍馬は、後に亀山社中を立ち上げ、薩長同盟に尽力し、所謂船中八策を創り上げ、大政奉還へとつなげていきました。また、十代の頃、同じく姉にあてた手紙に書いた次の和歌を紹介しました。「**世の人は 我を何とも言わば言え 我が成す事は私のみぞ知る**」周囲に流されず、己しか知らない道をただひたすらに突き進む・・・彼の信念を感じる歌です。坂本龍馬は、自分の夢の実現に向け、幕末の混乱の中を、33歳で刃に倒れるその日まで躍動し続けました。卒業生には、夢を抱き、その夢の実現のために、自分自身を信じて色々なことに挑戦し、人生を豊かなものにしてほしいという願いを込めました。

修了生には、イギリスの哲学者フランシス・ベーコンの「**知は力なり**」という言葉を送りました。後期課程はたった3年間しかありません。その3年後15の春に現れる「**夢の実現**」に向けた扉を、自分の手で開かなければならないのです。その扉は分厚く重いもので、開くためにはそれ相当の力が必要です。その力をつけるために必要なことは何か…。それは「**学ぶ気持ち**」をもち「**学び続ける**」ことです。ここでいう「学ぶ」とは教科書を使っただけの勉強ではありません。全ての経験が「学ぶ」の機会であり、自分の「夢の実現」に向けた扉を開くための力になるのです。修了生の2名には、食欲に学び続ける3年間にしてほしいと願いを込めて話をしました。

卒業生・修了生の皆さんの今後ますますの活躍を期待します。

※



お知らせ